

名古屋市観光客・宿泊動向調査 (平成28年度)

平成30年1月

名古屋市観光文化交流局

目 次

1. 観光統計について.....	2
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用.....	2
(2) 入込客数.....	2
2. 調査の集計結果.....	9
2-1 観光客の現状.....	9
(1) 調査の概要.....	9
(2) 調査結果.....	11
2-2 宿泊施設調査.....	34
(1) 調査の概要.....	34
(2) 宿泊施設の現状.....	35
(3) 宿泊客数.....	38
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価.....	50
(1) 調査の概要.....	50
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等.....	51
(3) 名古屋に対する評価.....	54
(4) 観光振興について.....	58
3. 資料編.....	59
(1) 主要観光施設への入込動向.....	59
(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）.....	63

巻末 調査票

●調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間の入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成28年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施設の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、「行・祭事」「イベント」「スポーツ」「音楽・演劇等」の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成28年度については全国観光統計基準に適合する83地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。平成28年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約7,044万人で前年度比約200万人（2.9%）増加した。

9月の悪天候や12月から1月の高病原性鳥インフルエンザ発生による休園によって「東山動植物園」の入場者が減少したものの、6月に本丸御殿第2期公開を開始した「名古屋城」や、8月から10月のあいちトリエンナーレ2016の会場であった「名古屋市美術館」「愛知県美術館」が人気を博したことが増加の主な要因となっている。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
大分類	中分類					
学ぶ (見る・体験する)	自然					
	文化・歴史	調査地点数	26	26	26	26
		入込客述べ人数	22,625,801	22,361,685	23,556,367	23,300,401
		対前年度比	5.3%	▲1.2%	5.3%	▲1.1%
	産業観光	調査地点数	6	6	6	6
		入込客述べ人数	2,155,078	2,175,112	2,274,288	2,149,817
対前年度比		▲2.0%	0.9%	4.6%	▲5.5%	
遊ぶ (楽しむ・リフレッシュ)	スポーツ・レクリエーション施設	調査地点数	16	16	16	15
		入込客述べ人数	11,502,060	11,412,265	12,059,196	13,263,867
		対前年度比	0.3%	▲0.8%	5.7%	10.0%
	温泉					
	買物					
触れ合う (交流する)	行・祭事	調査地点数	17	16	16	15
		入込客述べ人数	6,610,033	8,502,057	8,021,482	8,592,346
		対前年度比	▲16.0%	28.6%	▲5.7%	7.1%
	イベント	調査地点数	21	20	20	21
		入込客述べ人数	22,268,244	22,564,723	22,525,264	23,129,212
		対前年度比	93.8%	1.3%	▲0.2%	2.7%
計	調査地点数	86	84	84	83	
	入込客述べ人数	65,161,216	67,015,842	68,436,597	70,435,643	
	対前年度比	19.5%	2.8%	2.1%	2.9%	

注1：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

注2：対前年度比の▲はマイナス。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 28 年度の観光入込客実人数は 4,727 万人で、前年度比 396 万人増 (9.1%増) となった。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光入込客延べ人数 (人)	65,161,216 (19.5%)	67,015,842 (2.8%)	68,436,597 (2.1%)	70,435,643 (2.9%)
平均訪問観光地点数	1.82	1.69	1.58	1.49
観光入込客実人数 (万人)	3,580 (2.5%)	3,965 (10.8%)	4,331 (9.2%)	4,727 (9.1%)

(カッコ内は前年度比増減率)

③居住地別観光入込客数の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、「名古屋市内客」「市外客」別の観光入込客実人数を推計した。居住地別の入込客実人数は、「名古屋市内客」が 1,711 万人で構成比 36.2%、「名古屋市外客」は 3,016 万人で構成比 63.8%だった。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	36.2%	63.8%
観光入込客実人数	4,727 万人 (9.1%)	1,711 万人 (15.5%)	3,016 万人 (5.8%)

(カッコ内は前年度比増減率)

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推計した。平成 28 年度の宿泊客実人数は 639 万人で前年度比 14 万人減（2.2%減）となった。この減少は全国的な傾向で、大型連休の日並び、台風などの悪天候が影響したものとみられる。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延べ宿泊客数（人）	7,509,115 (8.0%)	7,523,002 (0.2%)	8,453,709 (12.4%)	8,409,011 (▲0.5%)
宿泊客実人数（人）	5,979,400 (3.2%)	5,855,719 (▲2.1%)	6,529,101 (11.5%)	6,387,047 (▲2.2%)
宿泊客平均宿泊日数(日泊)	1.26	1.28	1.29	1.32

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査によって、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地を「名古屋市内」と「名古屋市外」に分けて宿泊客実人数を推計した。

平成 28 年度の宿泊客は「名古屋市外客」が 635 万人、「名古屋市内客」は 4 万人だった。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	0.6%	99.4%
宿泊客実人数	639 万人 (▲2.2%)	4 万人 (▲20.0%)	635 万人 (▲2.0%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

⑥ 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推計した。日帰り客実人数については、「名古屋市内客」が平成 27 年度に大きく減少していたが、平成 28 年度は 231 万人（15.7%）の増加となった。「名古屋市外客」は平成 27 年度に大きく増加し、平成 28 年度も 179 万人（8.1%）の増加となった。

一方、宿泊客実人数については、「名古屋市内客」は減少傾向にあり、「名古屋市外客」は平成 27 年度まで増加傾向にあったが、平成 28 年度は 13 万人（2.0%）減少した。この減少は全国的な傾向で、大型連休の日並び、台風などの悪天候が影響したものと思われる。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数推移

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光入込客 実人数	計	3,580 万人 (2.5%)	3,965 万人 (10.8%)	4,331 万人 (9.2%)	4,727 万人 (9.1%)
	市内客	1,450 万人 (26.1%)	2,109 万人 (45.4%)	1,481 万人 (▲29.8%)	1,711 万人 (15.5%)
	市外客	2,130 万人 (▲9.1%)	1,856 万人 (▲12.9%)	2,850 万人 (53.6%)	3,016 万人 (5.8%)
宿泊客実人数	計	598 万人 (3.1%)	586 万人 (▲2.0%)	653 万人 (11.4%)	639 万人 (▲ 2.1%)
	市内客	41 万人 (▲14.6%)	14 万人 (▲65.9%)	5 万人 (▲64.3%)	4 万人 (▲20.0%)
	市外客	557 万人 (4.7%)	572 万人 (2.7%)	648 万人 (13.3%)	635 万人 (▲2.0%)
日帰り客 実人数	計	2,982 万人 (2.3%)	3,379 万人 (13.3%)	3,678 万人 (8.8%)	4,088 万人 (11.1%)
	市内客	1,409 万人 (27.9%)	2,095 万人 (48.7%)	1,476 万人 (▲29.5%)	1,707 万人 (15.7%)
	市外客	1,573 万人 (▲13.2%)	1,284 万人 (▲18.4%)	2,202 万人 (71.5%)	2,381 万人 (8.1%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。その結果、平成 28 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,541 億円で、前年度比 259 億円減（6.8%減）となった。

宿泊客の総消費額は 1,567 億円で、前年度比 153 億円減（8.9%減）となった。

一方、日帰り客の総消費額は、名古屋市内客が 496 億円で、前年度比 22 億円増（4.6%増）、名古屋市外客は 1,478 億円で、前年度比 128 億円減（8.0%減）となった。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
宿泊客実人数		598 万人	586 万人	653 万人	639 万人
日帰り客実人数	市内客	1,409 万人	2,095 万人	1,476 万人	1,707 万人
	市外客	1,573 万人	1,284 万人	2,202 万人	2,381 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,620 円	26,422 円	26,353 円	24,530 円
日帰り客一人あたり消費額	市内客	3,534 円	3,527 円	3,215 円	2,905 円
	市外客	6,719 円	7,134 円	7,292 円	6,211 円
宿泊客総消費額		1,592 億円	1,549 億円	1,720 億円	1,567 億円
日帰り客総消費額	市内客	497 億円	739 億円	474 億円	496 億円
	市外客	1,057 億円	916 億円	1,606 億円	1,478 億円
名古屋市内観光総消費額		3,146 億円	3,204 億円	3,800 億円	3,541 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での旅行費用項目別の平均消費額を、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に設定し、名古屋市内での各項目別の消費額を推計した。

宿泊客の平均消費額は 24,530 円、市内日帰り客が 2,905 円、市外日帰り客は 6,211 円だった。

項目別平均消費額を、宿泊客数、市内日帰り客数、市外日帰り客数にそれぞれかけ合わせ、旅行費用項目別総消費額を推計した。その結果、平成 28 年度の観光総消費額は 3,541 億円で、前年度比 259 億円減（6.8%減）となった。項目別に見ても全ての項目で減少しており、減少率が大きかったのは、土産費消費額 127 億円減（14.1%減）と宿泊費消費額 61 億円減（10.4%減）だった。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
食事費消費額	864 億円	929 億円	1,096 億円	1,082 億円
交通費消費額	488 億円	453 億円	438 億円	435 億円
土産費消費額	586 億円	537 億円	900 億円	773 億円
宿泊費消費額	603 億円	512 億円	584 億円	523 億円
入場料消費額	346 億円	411 億円	363 億円	345 億円
その他消費額	259 億円	362 億円	419 億円	383 億円
観光総消費額	3,146 億円	3,204 億円	3,800 億円	3,541 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,491 円 (▲7.3%)	1,116 円 (▲4.5%)	1,999 円 (▲5.7%)
交通費	1,674 円 (▲11.3%)	451 円 (2.0%)	1,056 円 (▲6.9%)
土産費	5,154 円 (▲5.5%)	491 円 (▲34.5%)	1,512 円 (▲23.1%)
宿泊費	8,188 円 (▲8.5%)		
入場料	1,254 円 (▲5.7%)	370 円 (▲8.6%)	850 円 (▲13.5%)
その他	1,769 円 (2.0%)	477 円 (6.0%)	794 円 (▲27.1%)
合計	24,530 円 (▲6.9%)	2,905 円 (▲9.6%)	6,211 円 (▲14.8%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費消費額	415 億円 (▲9.2%)	191 億円 (11.0%)	476 億円 (1.9%)	1,082 億円 (▲1.3%)
交通費消費額	107 億円 (▲13.0%)	77 億円 (18.5%)	251 億円 (0.4%)	435 億円 (▲0.7%)
土産費消費額	329 億円 (▲7.6%)	84 億円 (▲24.3%)	360 億円 (▲16.9%)	773 億円 (▲14.1%)
宿泊費消費額	523 億円 (▲10.4%)			523 億円 (▲10.4%)
入場料消費額	80 億円 (▲8.0%)	63 億円 (5.0%)	202 億円 (▲6.5%)	345 億円 (▲5.0%)
その他消費額	113 億円 (0.0%)	81 億円 (22.7%)	189 億円 (▲21.3%)	383 億円 (▲8.6%)
観光総消費額	1,567 億円 (▲8.9%)	496 億円 (4.6%)	1,478 億円 (▲8.0%)	3,541 億円 (▲6.8%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)